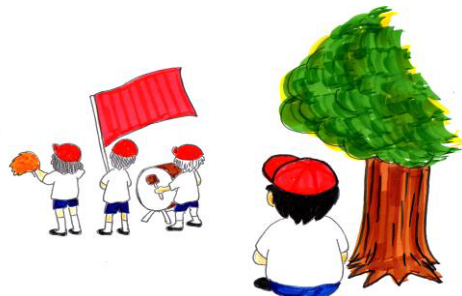


【用語の説明】

- ※1 この手引きでは、高機能自閉症・アスペルガー症候群等を含んだ自閉症スペクトラムを「自閉症」と表記しています。
- ※2 「個別支援学級」とは、学校教育法上の特別支援学級のことであり、横浜市が呼称として使用している学級の名称です。
- ※3 通常の学級（通常の教育課程によって教育活動を行う学級）のことを、横浜市では「一般学級」と呼んでいます。
- ※4 「自閉症の特性を有する」という場合は、自閉症の診断が有無にかかわらず可能性のある場合を含むときに使用しています。
- ※5 「自閉症等」という場合は、自閉症だけでなく他の発達障害等も含む場合に使用しています。
- ※6 「子ども」という場合は、児童生徒だけでなく、就学前の幼児を含む場合に使用しています。
- ※7 「特別支援学校学習指導要領 知的障害である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校」については、「特別支援学校学習指導要領（知的障害）」と省略して表記しています。
- ※8 【生活科】 小学校学習指導要領による1，2年生の教科
【生活】 特別支援学校学習指導要領（知的障害）による小学部の教科
と書き分けています。
- ※9 「インクルーシブ教育システム」については、巻末の資料参照。
- ※10 「ユニバーサルデザイン」については、「6 指導方法の工夫」参照。

★各章の扉のページには、その章の大事な点をチェックリスト「確かめてみよう」として載せました。校内研修や授業の振り返りにご活用ください。



***** 目 次 *****

はじめに	1
★用語の説明	2
★コラム「学校生活や友達関係で困ったこと」	
1 横浜市の自閉症教育	6～11
（1） 横浜市における自閉症教育の考え方	
（2） 横浜市立学校における自閉症のある児童生徒の教育の場	
2 教育課程	12～19
（1） 基本的な考え方	
（2） 知的障害のある自閉症児童生徒の場合	
①特別支援学校 ②個別支援学級	
（3） 知的障害のない自閉症児童生徒の場合	
①個別支援学級 ②通級指導教室の利用	
3 自立活動	20～23
（1） 基本的な考え方	
（2） 特別支援学校の実践例	
（3） 個別支援学級の実践例	
（4） 一般学級での考え方	
（5） 自立活動のP D C A	
4 実態把握から個別の教育支援計画・個別の指導計画へ	24～31
（1） 基本的な考え方	
（2） 実態把握～特性を踏まえて～	
★コラム「重複障害としての自閉症の特性に応じた指導・支援」	
5 社会参加に向けたキャリア教育	32～37
（1） 基本的な考え方	
（2） 小学校・中学校から取り組みたいこと	
（3） 4領域8能力から基礎的・汎用的能力へ	
★コラム「就労して困ったこと」	
6 指導方法の工夫	38～49
（1） 基本的な考え方	
（2） 知的障害のある自閉症児童生徒の場合	
（3） 知的障害のない自閉症児童生徒の場合	
（4） 指導方法と評価	
（5） 教材・教具	
（6） 指導形態	
7 環境整備	50～57
（1） 特別支援学校	
（2） 個別支援学級	
（3） 一般学級	
（4） 特別支援教室	

8 周囲の子どもの理解に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58～61

- (1) 基本的な考え方～教職員の理解～
- (2) 学年・学級集団への指導～交流学习を中心に～
- (3) 学級づくりのヒント

★「授業づくりチェック表」(国立特別支援教育研究所)

9 保護者や地域の理解に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62～65

- (1) 基本的な考え方
- (2) 学校の取組
- (3) 教育委員会の取組
- (4) 放課後の居場所から
- (5) 地域の中で～コミュニケーションボードの活用～

10 関係機関との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66～69

- (1) 基本的な考え方
- (2) 育ちを支える機関連携

★コラム「学校組織体制について」

Q&A・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70～85

- Q1 自閉症・情緒障害の教育的判断のある場合、知的障害の有無によって学級編制を分ける必要はありますか。
- Q2 1つの自閉症・情緒障害学級に、知的障害のある児童生徒と知的障害のない児童生徒とが同時に在籍している場合には、教育課程の編成をどのように考えればよいですか。
- Q3 生活単元学習と生活と生活科の違いを教えてください。
- Q4 個別支援学級の授業時数は、どのように考えたらいいですか。
- Q5 特別支援教室の活用するときのポイントや具体的な活用例を教えてください。
- Q6 教科書を選定するときの考え方を教えてください。
- Q7 年間指導計画の例を教えてください。
- Q8 横浜型センター的機能について、教えてください。
- Q9 横浜型センター的機能の具体的な活用例について、教えてください。
- Q10 高等特別支援学校でのキャリア教育について、教えてください。

★コラム「PDCA」

資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86～97

- 特別支援教育に関する法令等
- 国際生活機能分類
- インクルーシブ教育システム
- 基礎的環境整備
- 合理的配慮
- 高等学校入試での配慮

(巻末)「自閉症教育の手引き」策定委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98

【コラム】

自閉症の特性を有する児童生徒に、学校生活やお友達とのかかわりで困ったことを聞いてみました。自閉症の特性や 4(2) 実態把握～特性を踏まえて～を参照しながら、困っている場面の解決策について考えてみてください。

ルールを守れない子がいて、とても困った。

昨日とちがうルールが出てくる。みんなで決めても、次の日に先生が変えてしまうことが多かった。

「クラスには何人の友達がいるの？」と聞かれた。クラスの人数を聞かれたとは思わなかったので、「二人」と答えたら、笑われた。

友達って、どういうこと？

先生の着ているTシャツの柄がすごくにぎやかで、気になって仕方がなかった。

友達を大きな声で注意する先生がいた。自分が叱られているようで、いやだった。

姿勢ばかり注意されたから、「よい姿勢」「よい姿勢」って気を付けてたから、先生の話は分からなかった。

一度にいっぱいのことを言われるから、どうしていいか分からなくなって、何もできなかった。



テレビの話題。みんなが笑う意味が分からなかった。

時間割では、国語の時間なのに、突然【算数】に変わったりした。

先生のお話が長くて、何が大事なのが、分からなかった。

予定の変わることが多くて、いつもドキドキしていました。

勉強の始まりの時間と終わりの時間が守られない。休み時間が来ても、「もう少し」「まとめるから」と、時間が延びてしまうこと。

みんなはテレパシーが使えていた。自分は、テレパシーが使えないから、みんなと話が合わなかった。

休み時間になると「みんなで、外で遊ぼう」と言われた。一人でゆっくり過ごしたかったのに。

同じことを聞くと、いやがられた。心配だから聞いたのに…

遊ぶ約束をしたけれど、相手が誰だか分からなかった。

「約束をやぶった」と言われるけれど、何のことだか分からないので、知らん顔してたら、みんなから怒られた。

「教科書を貸して」と言われたけど、どうしていいか分からなかった。「国語、かざぐるま」って言ってくれたら、分かったのに。

お友達の家でお菓子が出た。「好きなだけ取っていいよ」と言われたので、大好きなチョコレートを全部取ったら、すごく責められた。